

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2014年9月

コミッティ活動

DOCUMENTATION/REGULATORY: 担当 森田 (tmorita@isda.org)

Cleared Derivatives Execution Agreement:

9月19日、ISDAのディーラーメンバーは会合を開催し、ISDA/FIA Europe Cleared Derivatives Execution Agreement (CDEA) をJSCCで清算されるOTCデリバティブ取引に用いる場合の法的、ドキュメンテーション、オペレーション上の問題点について検討した。

9月30日、CDEAの説明会が開催され、本邦市場における使用の可否について分析を行ったリンクレーターズより、OTCデリバティブ規制ワーキンググループのメンバーを対象に、枠組み、目的、主要な条項などについて説明した。

COLLATERAL: 担当 森田 (tmorita@isda.org)

9月17日、IMの分別管理・倒産隔離に関する検討会メンバーが、担保の差入人、受取人、信託勘定との間でのオペレーションフローに加え、ドキュメンテーションの枠組みについて検討するための会合を開催した。メンバーはまた、2015年12月1日の導入に向けた、カストディアンと信託勘定の両方のスキームに関する今後の検討手順についても、検討した。

CREDIT DERIVATIVES: 担当 森田 (tmorita@isda.org) / 洞口 (khoriguchi@isda.org)

ISDA 2014 Credit Derivatives Definitions Protocol

8月21日、ISDAは2014 Credit Derivatives Definitions Protocol (プロトコル) を公表した。プロトコルは、その範囲内で、他のすべての批准者が2003年の定義集の内容を2014年の定義集の内容に置き換えることで市場参加者が取引内容の修正に合意することを可能とするもの。

プロトコルは、グローバル規模で高水準の批准となったが、期限直前に、ワーキンググループのメンバーから、プロトコル適用の対象から除外されるとしてリストに掲載されている参照組織について、複雑かつ進化中のクレジット市場の環境を鑑み、参照企業の追加が必要ではないかとする重要な問題点が挙げられた。

そのため、9月12日、ISDAはプロトコルの批准期限を2014年9月17日正午12時(ニューヨーク時間)に延長する旨を公表した。2014年9月22日としていた使用開始予定日に影響を与える意図はなかったが、オペレーション上のプロセスとインフラの変更に対応するための時間が必要であり、また市場に与える影響を避けるため、本来は9月22日としていた既存取引の変更日を2014年10月6日とすることが提案された。詳細については、[ISDAウェブサイト](#)にて閲覧可能。

9月11日、ISDAは金融庁を訪問、2014年版の定義集とプロトコルについて意見交換を行った。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

2014 ISDA Annual Japan Conference (英語と日本語によるコンファレンス)	10月30日
Global Swap Regulations What is new and what impacts local participants? (英語によるコンファレンス)	10月31日
OTC Derivatives Working Group (日本語による会議)	tbd